

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年8月11日

ワクチン接種の有無による新型コロナ死亡・重症化リスクの差：パキスタン

【松崎雑感】

新型コロナワクチンの目的は、感染防止よりも、感染の結果重症化するとか、死亡するリスクを減らすことにあります、という事は世界中の疫学者が口をそろえて言っています。感染そのものをブロックするかどうかは、二次的価値であるという事になります。mRNAワクチンでもオミクロン株の感染防止力はそれほどではありませんが、重症化と死亡リスク低下効果は大きいわけで、同じことは中国製のワクチンでも言えるようです。パキスタンの調査では、中国製ワクチンが死亡リスクを5分の1に減らしていたという結構すぐれた効果があったという報告です。

ワクチン接種の有無による新型コロナ死亡・重症化リスクの差：パキスタン

Fatima S (Department of Medicine, Section of Internal Medicine, Aga Khan University Hospital, Karachi, Pakistan.) , Zafar A, Afzal H, et al. **COVID-19 infection among vaccinated and unvaccinated: Does it make any difference?. *PLoS One***. 2022;17(7):e0270485. Published 2022 Jul 15. doi:10.1371/journal.pone.0270485

要旨

2021年6月から9月におけるパキスタン、アガカーン大学病院の新型コロナ入院者を対象とした、ワクチン接種の有無による予後の差の検討。4394名の新型コロナ患者中、新型コロナワクチン2回接種者164名（37.7%）、1回接種者29名（6.6%）、未接種者241名（55.5%）。

接種されたワクチンの8割近くは中国製。mRNAワクチンは数名。

53名（12.2%）が死亡した。

ワクチン未接種者の死亡率（12.2%）はワクチン2回接種者の死亡率（6.1%）よりも有意に高かった。多変量解析の結果、ワクチン未接種者の死亡オッズは2回接種者の5.04倍となっていた。

松崎コメント

ワクチン未接種者の死亡率が有意に高くなっていた。

しかし、接種されたワクチンの大半は、有効率の高いmRNAワクチンでないことに留意する必要がある。

ちなみにファイザービオンテックワクチンなどの感染防止効果は90%以上だが、シノバックなどの感染防止効果は60%台だった。

そうでありながら、mRNAワクチンでなくとも、中国製のワクチンが死亡オッズ比を5分の1に減らす効果があることは注目される。

各国・地域の新型コロナワクチン調達状況（メーカー別内訳）

